

技術・家庭科（家庭分野）実践提案

— 水谷直美 —

1 これまでの家庭科の取組

家庭科は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育てることを目標としている。

そのため家庭科部では、各題材において実生活との関連を図った問題解決的な学習を取り入れてきた。児童生徒一人一人の家庭生活はそれぞれ異なっており、生活をよりよくしようとする願いや課題も違っている。その異なった課題の解決方法を学習活動の場で対話し、他者の考えを知ること、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

また、家庭科の学習対象である家族や家庭、衣食住、消費生活や環境などに関わる生活事象を「協力する・助け合う」「健康・快適・安全な生活をする」「人々の生活や文化の大切さに気付く」「持続可能な社会を目指す」の四つの視点で捉えた。よりよい生活を実現するために、この視点を児童生徒が働かせながら課題解決に向けて工夫することで、学習と自分の生活や家族とを関連付けて考えられるようになり、学習したことを実際の生活で試してみたい、やってみたいと意欲も高めることにつながれると考えた。

このように、家族や家庭生活に目を向け、家庭生活の在り方や家族への思いに意識を高めていく学習を通して、家族や家庭生活を大切にすることを育み、家族の一員として協力し、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うことができると捉えている。

2 自己実現に向かう資質・能力にかかわる手立て

（1）問題解決力について

よりよい生活を実現するために、生活の営みに係る「見方・考え方」を働かせながら、願いの実現に向けて問題を追究する姿

四つの視点（生活の窓）から児童生徒自身の生活を振り返り、学習活動の見通しと願いをもつことができるような題材導入を行った。また、幅広い選択肢の中から自分の願いを実現するための工夫を選ぶことができるように、様々な方法を提示したり、家庭の実践方法を仲間と交流したりする場面を設けた。

（2）関係構築力について

- ・ 願いの実現に向けて、自分なりに考え、工夫したことを表現する姿
- ・ 班や学級の仲間に相談したり、自分なりの工夫を交流したりして、自分の願いに近付くためのよりよい方法を見付ける姿

自分のつまずきや悩み、工夫などを相談・交流する時間を学習活動の中に位置付け、互いの様子を理解し、仲間同士で助言できるようにした。

（3）貢献する人間性について

- ・ 仲間と共に生み出した知恵や技を生かして、家庭生活をよりよくしようと実践する姿
- ・ できあがった成果物を大切に使い続ける姿

自分の成長が分かるようにポートフォリオで振り返りを行い、記録を残す一方で、児童生徒が継続的に家庭で実践できるように家庭と連携し、定期的にチャレンジタイムを設けた。

3 題材の指導計画

学年	第5学年	題材名	わくわくソーイング（全11時間）	B衣食住の生活（5）アイ
題材で育む資質・能力				
<ul style="list-style-type: none"> ・ナフキン製作に必要な材料や手順、製作計画について理解するとともに、適切に製作する技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして、課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決することができるようにする。〔思考力、判断力、表現力等〕 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題解決に向け、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕 				
時	主な学習活動とねらい		自己実現に向かう資質・能力を発揮している姿	
①	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにはミシン縫いで作られている物が多いことに気付き、ミシンに関心を持ち、ミシン縫いの特徴を理解することができる。 ・自分の願いを明らかにして、ナフキン製作の見通しをもつことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身の周りにあるミシンで縫われている物やミシン縫いの特徴について考え、ミシン縫いのよさを追究する姿（問題解決力） 	
②	直線縫いのこつを調べたり、自分なりに工夫したりして、直線縫いの仕方を理解することができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンを用いた直線縫いの仕方について、自分なりに考えたり工夫したりしたことを仲間と伝え合いながら、よりよい方法を見付ける姿（関係構築力） 	
③	針の付け方・外し方、下糸の入れ方・出し方（下糸の巻き方）、上糸のかけ方、縫い始め・縫い終わりの手順、縫う方向を変える、返し縫い、について、示範や動画を視聴し、実際にミシンを操作しながら方法を理解することができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの使い方や縫い方を仲間と確認しながら、安全な操作方法を身に付けようとする姿（問題解決力） 	
④				
⑤				
⑥	ナフキンの大きさやデザイン、機能性など自分の願いに合うナフキンを考えて、型紙を作ることができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の願いを実現できるナフキンにするために、既製品を観察したり調べたりして、型紙を製作する姿（問題解決力） 	
⑦	布を裁ち、しるしを付けて、ミシンで直線縫いをすることができる。 ⑦ 型紙通り布を裁ち、しるしを付けることができる。 ⑧ 左右の布端の始末（三つ折り）をすることができる。 ⑨ 【本時】前時の三つ折り縫いを改善し、自分の願いに近づくようにミシンで三つ折りを縫う（上下）ことができる。 ⑩ 糸の始末をしたりアイロンをかけたりして、ナフキンを仕上げるることができる。		<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いの楽しさや布製品を活用する喜びを味わう姿（貢献する人間性） ・ミシンを用いた直線縫いの仕方について、自分なりに考えたり工夫したりしたことを表現する姿（関係構築力） ・ミシンの使い方や縫い方を仲間と確認しながら、よりよい方法を見付ける姿（関係構築力） ・自分の願いに向けて、試行錯誤しながらミシンを使って製作する姿（問題解決力） 	
⑧				
⑨				
本時				
⑩				

⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・ナフキン製作の工程やできあがった作品への思いや、ナフキン製作に向けた一連の活動を振り返り、家庭で使用しようとしている。 ・後日、ナフキンを使ってみた感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫いのよさを理解し、丈夫な布製品を長く使い続けようとする姿（貢献する人間性）
研究にかかわる見届けの視点と手立て		
問題解決力	<p>①身の周りにあるミシンで縫われている物やミシン縫いの特徴について考え、ミシン縫いのよさを見付けようとする姿 →ミシン縫いと手縫いの比較ができるように実物見本を提示する。</p> <p>①自分の願いを明らかにして、ナフキン製作の見通しをもつ姿 →教科書の作り方や動画などで、ナフキン製作の手順を示す。</p> <p>③④⑤ミシンの使い方や縫い方を仲間と確認しながら、安全な操作方法を覚えようとする姿 →二人に1台のミシンを操作し、実演できる環境を整える。</p> <p>⑥使いやすいナフキンにするために、自分の願いを明らかにして、型紙を製作する姿 →今までナフキンを使っていた場面を4つの視点から振り返り、どのようなナフキンを製作したいのかという願いをもつようにする。 →机の上に広げたときの様子をイメージできるように、学習机の大きさを測ったり、食器を置いたりできるようにする。</p> <p>⑧⑨⑩ミシン縫いの楽しさを感じている姿 →ミシンの整備を行い、縫い進む楽しさを実感できるようにする。 →なぜ布端に三つ折り縫いをするのかを問い直しながら、三つ折りのよさを明らかにする。</p>	
関係構築力	<p>②ミシンの使い方や縫い方を仲間と確認しながら、よりよい方法を見付けている姿 →意見交流の時間を長く設定し、他者の方法を理解して試してみるよう促す。</p> <p>⑧⑨ミシンの使い方や縫い方を仲間と確認しながら、よりよい方法を見付けている姿 →班の仲間がミシンで縫うところを見て、アドバイスできるようにする。</p>	
貢献する人間性	<p>⑦⑧⑨⑩自分の願いに向けて、ミシンを安全に使って製作している姿 →毎時間の振り返りでは、ポートフォリオに自分の成長を記入できるようにする。</p> <p>⑪ミシン縫いのよさを理解し、丈夫な布製品を長く使い続けよう決意する姿 →ナフキン製作での仲間のよさ見付けを行い、互いの頑張りを認め合えるようにする。</p>	

4 教科にかかわる本時のねらい

前時の三つ折り縫い（左右）を見直す活動を通して、縫う場所や布を押さえる手の位置、ミシンの速度などの改善点を見だし、自分の願いに近づくようにミシンで三つ折りを縫う（上下）ことができる。〔知識及び技能〕

5 本時の展開（9/11）

児童の学習活動	教師の手立てと見届け
<p>1 前時の三つ折り（左右）を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> 縫い目が縫い代の真ん中に寄っているけど、いいのかなあ。 返し縫いの縫い目がずれていて、見た目がよくないなあ。 <p>2 課題を把握する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もっと自分の願いに近づくように、三つ折りをぬおおう。</p> </div> <p>○班で交流した工夫点を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ミシンの速度はゆっくりの方が、まっすぐ縫えてきれいに仕上がりそうだ。（ミシンの速度） 縫い代がめくれて引っ掛かりそうだから、今日は三つ折りの左端を縫いたい。（縫う場所） 前は、縫い始めの縫い目がゆるくて糸がほつれそうだったので、返し縫いの長さを少し長くして、糸がほつれないようにしたい。 ミシンのおさえの端を三つ折りの端に合わせるとまっすぐ縫えることが分かったから、やってみたい。 (縫い方のコツ) まっすぐきれいに縫うために、ミシン線をチャコペンで書いて、そこを縫うようにしてみる。 <p>3 試作する</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙の端を三つ折りし、縫うときのポイントを意識しながらミシンで縫う。 <p>4 製作する</p> <ul style="list-style-type: none"> ナフキンの上側と下側の布端の始末をする（三つ折り縫い）。 <p>5 振り返りを行う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ミシンのおさえの端を三つ折りの端に合わせると、三つ折りの左端をミシンで縫うことができた。 ミシン線の印を付けて縫ったら、まっすぐ縫うことができた。 </div>	<p>○まず自分で前時の三つ折り縫いを振り返り（どこの、何を、どうしたいか明らかにする）、次に班内で工夫点を交流する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>研究に関わって</p> <p>【見届けの視点】</p> <p>班内で交流し、仲間の工夫を自分の作品に取り入れようとする姿を、交流や製作の様子から見届ける。（関係構築力）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 願いと関わらせながら、縫う場所、ミシンの速度、布を押さえる手の位置、返し縫いの工夫などに分類して板書する。 <p><安全管理></p> <p>ミシンの配置、コードの位置、布を押さえる手の位置、アイロンの使用場所、針の本数確認、糸切りばさみのキャップ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【評価規準】</p> <p>改善点を意識しながら、ミシンで布端の始末（三つ折り）をしている。〔知識・技能〕</p> </div>

【児童の願い】

- ・中学校でも使えるように、布の端がほつれずに丈夫にしたい。
- ・何回使っても糸がほどけないように、しっかり縫いたい。
- ・見た目をきれいにするためにミシンの縫い目をまっすぐ縫いたい。